

GCOM-W1 AMSR2 研究プロダクトの開発状況

Development status of the GCOM-W1 AMSR2 research products

*前田 崇¹、関 三恵子²、野牧 知之²、可知 美佐子¹

*Takashi Maeda¹, Mieko Seki², Tomoyuki Nomaki², Misako Kachi¹

1.国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構、2.一般財団法人 リモートセンシング技術センター

1.Japan Aerospace Exploration Agency, 2.Remote Sensing Technology Center of Japan

JAXAは2012年5月に打ち上げられた水循環変動観測衛星GCOM-W搭載マイクロ波放射計2(AMSR2)の運用を行ってきた。このミッションでは8つの地球物理量(積算水蒸気量、雲水量、降水量、海面水温、海上風速、海氷密接度、積雪深、土壌水分)が標準プロダクトとして定義され、これらは2013年5月に一般公開されている。

一方、地表面温度、植生水分量、海氷移動ベクトル、薄氷域検出、高解像度海氷密接度などの将来の標準プロダクト候補としての研究プロダクトが2015年5月に正式に定義された。これに基づき、われわれはAMSR2データから研究プロダクトを生成するためのアルゴリズムの実装を開始し、これまでに初期検証結果を得た。本稿ではGCOM-W AMSR2 研究プロダクトの現状について発表する。

キーワード：水循環監視、マイクロ波放射計、地球観測

Keywords: Watercycle monitoring, Microwave radiometer, Earth observation